

# 「泉州TRY 2013 障害者差別解消の法制化を求める大行進 ～差別のないSENSYU!～（略称：泉州TRY）」報告

## 【泉州TRYとは？】

2013年4月1日から南海電鉄が100駅中33駅もの駅で駅員を配置しない無人駅化を押し進めるという事態が起り、私たちが駅を利用しようと思った際に非常に不便を強いられるようになりました。このことは、安心、安全に公共交通機関を利用するという移動の権利を侵害する大きな問題であると捉えています。また、2013年6月の国会にて障害者差別解消法が審議され、我々障害者にとって長年の悲願となるこの法律が制定されました。しかし本法において、独立した紛争解決機関が位置づけられていなかったり、合理的配慮の提供について民間事業者は努力義務となっているなど不十分な点があることから、その点を補うために大阪府において障害者差別を禁止する条例の制定を求めていくということが必要です。

そこで、この2つの問題を私たちが暮らす泉州地域から発信していくために、泉州地域にある自立生活センター「自立生活センター・リアライズ（泉大津市）」、「自立生活センター・いこらー（岸和田市）」、「障害者自立生活センターリアン（阪南市）」の3つのセンターが中心となって実行委員会を組織し、2013年4月から準備を始め、8月25日（日）～31日（土）の1週間、岬町から難波までの60kmを行進するとともに、開催期間において毎日各地でデモ行進を行い、泉州地域の各地にて地域に向けたシンポジウムなどの企画を毎日開催し、①大阪府における障害者差別を禁止する条例の制定、②南海電鉄の駅の無人化の解消の2点を広く社会に呼びかけました。

## 【全体報告】

2013年4月15日（月）にリアライズにて決起集会を開催し、そこから各部局（企画部、行程部、デザイン部、財務部、広報部、総務部）に分かれて準備を進めていきました。その後、全体の進捗状況等を集約する全体会が7回、その準備のための事務局会議が8回開催され、各部会の会議を含めると数十回に及ぶ会議が行われました。60kmを行進する徒歩班や各地のデモやシンポジウムなど盛りだくさんの企画を実施するためには、それなりの予算も必要で、その資金集めのためにTシャツを販売するとともに、各地での街頭募金も14回を重ねました。（みなさまのご協力のお陰で必要な予算を確保することができました。感謝です。）

そして、いよいよ8月25日のスタートの日がやってきたのですが、なんとその日は、大雨警報が出たため、イベント中止の決断をしなければいけないという波乱の幕開けとなりました。当日、朝7時の段階で警報が出ていた場合中止すると案内していたため、苦渋の決断で中止としました。泉州TRYのホームページ上で中止の告知をさせていただいたのですが、当日の会場である阪南市サラダホールには50名近くの方が集まっていたため、急遽、ミニ講演会と60km歩く徒歩班の送り出し会を行うことができ、結果的に盛り上がったオープニングイベントとなりました。そしてTRY本体である徒歩班は電車に乗り岬公園駅まで移動し、1週間後のゴールである難波を目指して歩き始めました。

こうして無事スタートすることができた泉州TRYでしたが、特にデモ行進では、この泉州地域で障害当事者自身が自分たちの権利を主張してシュプレヒコールを叫ぶという行為に感動し胸が熱くなりました。その後、2日目以降も盛りだくさんの内容でしたが、どの企画も盛況で、のべ1000人を超える方々の参加があり、7日間大成功のうちに終わることができました。

泉州TRYを実施することになった時、正直、本当にやりきることができるのかと不安な思いもありましたが、準備段階からたくさんの方々のご協力を得ることができたことで、無事やり遂げることができました。

